

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2014年版、名古屋建築 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)
 物環境配慮制度適用マニュアル2014

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)HIRAKO.1-BLD.	階数	地上7F
建設地	名古屋市平子一丁目2-9	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	196 人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,205 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年10月13日
敷地面積	2,483 m ²	作成者	
建築面積	947 m ²	確認日	2015年10月16日
延床面積	3,935 m ²	確認者	

外観パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.6 ★★☆☆☆☆

☆:S:★★★★★ A:★★★★☆ B+:★★★☆☆ B:★★☆☆☆ C:★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算

①参照値 100%
 ②建築物の取組み 110%
 ③上記+②以外の 110%
 ④上記+ 110%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 4
 Q3 室外環境(敷地内): 3
 LR1 エネルギー: 2
 LR2 資源・マテリアル: 1
 LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	南・東向きをメインとし、優良な採光を確保。周囲の環境に考慮し、敷地周囲は緑化とする。	
その他	敷地北西側の道路が狭いため、近隣に配慮し、歩行者通行可能なスペースを設置。	
Q1 室内環境	接着剤等に有害な物質を含まないものを採用。明るい室内をメインとした設計。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	ベットの対応とするが、外部に汚物流し、足洗場の設置。インターネット環境の充実。防犯カメラ等の設置によるセキュリティの充実。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	密閉型のゴミ置き場の設置。中木を配置した花壇の設置。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	省エネに対応した、空調機の採用。深夜時間に減光等、時間に対応した照明計画。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	リサイクル砕石の使用。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	雨水貯留場を設置、敷地外に排出する雨水の流量を調整。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される